

京都市立洛央小学校スローガン 『ともに 学ぶ』

子ども同士で学び合う

友に

共に

学校・家庭・地域が子どものために一緒に学び合う

子供に

子どもの姿から学ぶ

誰もが成長できる場

朋に

共に

学校・家庭・地域が子どもにより沿って学びを支える

教職員同士で学び合う

子ども

行きたい！  
行かせたい！  
洛央小へ

地域の方

教職員

保護者

学校教育目標

人を大切に、心ゆたかにたくましく生き抜いていく子

—知恵を出し合い、みんなで問題を解決する力を育てる—

目指す子ども像

智：自分で考え解決に向けて挑戦できる子

心：自分も人も大切にできる子

体：元気で笑顔いっぱいの子

目指す教職員像

智：個に応じた指導・支援ができる教職員

心：子どもに寄り添い、当事者意識をもつ教職員

体：危機管理意識を高め、笑顔と声掛けを心がける教職員

目指す学校像

智：プロフェッショナルが集まる学校

心：一人一人を大切にする学校

体：安心・安全な学校

教職員が一番頑張ること『よく観て、一人一人のよさや可能性を見つけ、引出し、伸ばす！』

\*以下、(行動目標)(重点策)は全教職員で作成

智：テーマ『学びに夢中！』

～行動目標～

『子どもが夢中になる授業づくり』

～重点策～

- ◇やりたいを引き出す授業づくり
- ・赤ペンを活用したコメント記入
- ・個に応じた言葉かけ、問いかけの充実
- ・ともに学び合う時間の設定
- ◇教職員の指導力の向上
- ・【研究の日】の活用
- ・【ぶらり授業参観】の実施
- ・校内勉強会【通称：洛ペディア】の実施
- ・【通称：明読】を活かした教材研究

心：テーマ『笑顔の輪！』

～行動目標～

『いつでも、どこでも、だれとでも』

～重点策～

- ◇子どもの笑顔を引き出す挨拶の推進
- ・教職員が率先し、【先大見笑(先に、大きな声で、相手の目を見て、笑顔で)】の挨拶
- ◇教職員の子どもの理解を深める
- ・子どものよさを即フィードバック
- ・笑顔で傾聴し、言葉をかける
- ◇子どもの心を耕す
- ・人権感覚を養う【心の日】の実施
- ・児童会活動の充実(縦割りあそびなど)

体：テーマ『エネルギー活動【通称：エネ活】！』

～行動目標～

『体を動かす・育てる・守る』

～重点策～

- ◇子どもの体力の向上
- ・スポーツ大会と放課後遊び(教師主催)
- ・休み時間の体育館の開放
- ◇子どもの健康の増進
- ・給食室見学とお楽しみ給食の実施
- ◇子どもの安全の確保
- ・実地訓練の充実
- ・校内安全マップの作成
- ・健康状態の共有と取組改善(来室記録など)

\*重点策は随時、加筆・修正(OODA ループ)

～2年間で、次の数値目標の達成を目指す【2 年次】～  
智+心+体＝『楽しく通える学びの場』率アップ！！(子どもの意識調査)

子ども・保護者・地域の方・教職員の評価⇒『目指す子ども像』に近づいているか【学校評価・授業参観・学校運営協議会 等】

\*PDCA

一番の理解者として  
・健康管理  
・子どもとの会話  
・家庭学習の支援

家庭  
保護者

地域  
地域の方

身近な支援者として  
・安全管理  
・子どもへの声掛け  
・教育活動の支援

学校・教職員

子どもの伴走者

学校・家庭・地域との連携・協力＝『開かれた教育課程』・幼保小の接続＝『架け橋プログラム』・小中の連携＝『小中一貫教育』